

初コラボ 建機レンタルのアクティオとユーザー13万事業者の助太刀

「アクティオと助太刀」協業を開始

株式会社アクティオ

総合建設機械レンタルの株式会社アクティオ(本社:東京都中央区日本橋、代表取締役社長兼 COO:小沼直人、以下アクティオ)は、建設業向け求人アプリ「助太刀」を運営する株式会社助太刀(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長 兼 CEO:我妻陽一 以下、助太刀)と協業し、2020年8月上旬(予定)から順次、建設機械のレンタルを開始いたします。



アクティオは、現在、国内外においてコロナウイルスの感染拡大を受け、アクティオのコンセプトである、レンタルにコンサルティングを融合させた「レンサルティング」のノウハウを生かし、ウイルス対策製品として「仮設陰圧ハウス」の開発などを行ってきました。今回、13万を超える事業者が登録する助太刀と協力し、助太刀アプリ内にある「助太刀ストア」から、人を介さずスマホで簡単に建機をレンタルできるサービスを展開します。

これまで、建設現場では、建機が必要な際に、作業員がゼネコンなどの元請けに対し建機の手配を依頼し、施工管理担当者やゼネコンの担当者が、電話やFAX、対面で注文業務を行っていました。また、急遽、建機が必要になる場合は、納期までにタイムラグが発生し、作業予定日に建機が手元に届かないといった理由で、作業工程の変更や、全体の工期遅れにつながることも多くありました。

今回のサービスは、現場の作業員が、直接スマホで建設機械の発注ができ、現場へ迅速に建機を導入することが可能です。また、助太刀の保有する13万事業者の登録ユーザーデータを活用することで、今までアクティオが、あまりリーチできていなかったお客様に新たなレンタルサービスとして提供することが可能になります。

アクティオは今後も「レンサルティング」のノウハウを活かし、様々な社会問題を解決する製品やサービスを提供していきます。

■サービス概要

助太刀のユーザーは、アプリ内の「助太刀ストア」からレンタルしたい建機を選択し、宅急便で建機を受け取ることが可能です。また、問い合わせ、レンタル期間終了のリマインド、期間延長など、直接スマホで操作が可能です。レンタル終了後には、宅急便で返却ができ、必要な場合には修理費用の精算も可能になります。

■今後の展開

小型の商品からスタートし、順次拡充していきます。エリアもまずは横浜支店を中心に実施し、その後、全国に拡大していき、アクティオの在庫管理システムと連携し、シームレスなサービスを構築していく予定です。

■アクティオが展開する“レンサルティング”



アクティオのコンセプトである「レンサルティング」は「レンタル」と「コンサルティング」を合わせた造語で、商標登録をしています。会長の小沼光雄は著書の中で次のように紹介します。『従来、建機の世界では「つくる」「売る」という要素が主だったところに、「知恵やノウハウをプラスして貸す」という新たな価値提案をビジネスとして行ったわけです』(算数とハートの経営 2014年 幻冬舎)。現在の建設機械は、非常に高度化しており、せっきくの機能も、現場で最大限に活用することは難しくなっています。目的を果たすため、状況に応じてどの機能をどのように使うのか。アクティオは単に機械を貸すだけでなく、専門

的なノウハウを持ってサポートします。建設機械を熟知する専門レンタル会社だからこそ可能な、しかしレンタルの枠組みを飛び出した提案型のサービスがレンサルティング。時代とともに、その意義を拡大し、進化を続けています。

【アクティオ公式サイト】[https:// www.aktio.co.jp/](https://www.aktio.co.jp/)

【アクティオ Facebook ページ】<https://www.facebook.com/aktio.jp/>

■本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社アクティオ レンサルティング本部 担当：藤澤、日南

TEL:03-6666-2262